

2014年7月17日

各位

会社名 株式会社WOWOW
代表者名 代表取締役社長 和崎 信哉
(コード番号 4839 東証第一部)

第4回衛星放送協会オリジナル番組アワードにおいて 4作品が同時受賞！

第4回衛星放送協会オリジナル番組アワードにおいて、WOWOWの番組が高く評価され、それぞれ賞に選出されることが決定いたしました。

今回受賞した番組は、以下の通りです。

■ドラマ番組部門 最優秀賞

「ドラマWスペシャル 人質の朗読会」

■ドキュメンタリー番組部門 最優秀賞

「ノンフィクションW 八十歳の漂流俳優 ヨシ笈田 三島が託した日本」

■ミニ番組部門 最優秀賞

「君にも見えたかウルトラの星！ 帰ってきたウルトラマンの魅力」

■オリジナル番組賞 バラエティ番組部門 奨励賞

「大人番組リーグ2 予告本 夏目漱石『こころ』」

衛星放送協会オリジナル番組アワードは、一般社団法人衛星放送協会が、有料・多チャンネル放送業界での「オリジナル番組の製作の促進」と、その「認知向上」を目的に、2011年に創設した賞です。オリジナル番組賞〔ドラマ番組部門、ドキュメンタリー番組部門、バラエティ番組部門、情報教養番組部門、アニメ番組部門、ミニ番組部門、中継番組部門〕とオリジナル編成企画賞〔編成企画部門〕に分かれています。

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトの下、今後もオリジナルコンテンツの充実を図り、上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

【お問い合わせ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080
(IR関係) IR経理部 TEL03(4330)8089

「ドラマ W スペシャル 人質の朗読会」概要

放送概要

- 初回放送 2014年3月8日(土)
- 再放送予定 2014年10月予定 【WOWOWプライム】

番組内容

※番組情報は初回放送時のものです。

南米のある国でテロ事件が発生。長期化した事件は、日本人の人質6人全員が死亡という最悪の結果となってしまふ。2年後、ラジオ局の報道記者・中原(佐藤隆太)は、テロ事件で母親を亡くしたひとみ(波瑠)から連絡を受ける。彼女によると当時、事件解決に動いていた政府軍は盗聴器を仕掛けており、中には人質たちの「声」が収められていたという。そのテープを手に入れたひとみは、母親の最期の時間を知ってもらいたいと語る。収録されていたのは、人生の一片の朗読だった。作家、主婦、工場経営者、ツアーガイド、会社事務員という職業も年齢もバラバラの人質たちの、日々の物語が語られていた。

<スタッフ・キャスト>

原作：小川洋子『人質の朗読会』(中央公論新社刊)

監督：谷口正晃 脚本：杉原憲明

出演：佐藤隆太、大谷直子、長谷川朝晴、原日出子、阿南健治、三浦貴大、鷲尾真知子、波瑠、西田尚美、徳永えり、レオ・K、左時枝、佐々木すみ江 ほか



「ノンフィクション W 八十歳の漂流俳優 ヨシ笈田 三島が託した日本」概要

放送概要

- 初回放送 2014年3月21日(金)
- 再放送予定 2014年10月予定 【WOWOWプライム】

番組内容

※番組情報は初回放送時のものです。

文学座、劇団四季を経て35歳、1968年から海外で放浪を始めた俳優・ヨシ笈田(おいだ)。俳優業に加え演劇・オペラの演出家としても活動し、世界17カ国で出版された著書「俳優漂流」は若手俳優の必読書だ。さまざまな出会いが演劇・人生観の源となったという笈田が大きな刺激を受けたのが、作家・三島由紀夫。日本を離れる際に渡された「大海に飛び出す自分の進むべき道を示してくれた」という三島の手紙が初公開される。半世紀にもなる漂流俳優生活でつかんだ“死生観”や“日本への想い”、笈田のなかに培われた人生哲学が自然ににじみでてくる。2014年1月には、そんな漂流生活以前の、笈田の幼少期からの夢であった日本の大衆演劇劇団に初めて参加を果たす。傘寿を迎えても、その漂流ぶりにはますます磨きがかかり、このうえなく新鮮な表現者がいま・ここに呼吸している。親しまれつつ尊敬をうける八十歳の漂流俳優の現在をカメラは追う。

<スタッフ・キャスト>

監督：篠原哲雄

出演：ヨシ笈田

ナレーション：柳楽優弥



「君にも見えたかウルトラの星！ 帰ってきたウルトラマンの魅力」 概要

放送概要

- 初回放送 2013年12月8日（日） 【WOWOWプライム】

番組内容

※番組情報は初回放送時のものです。

ハイビジョン版がついに初放送される「帰ってきたウルトラマン」。主演の団時朗を交え、映画監督・庵野秀明、落語家・柳家喬太郎が、作品への熱い想いとその魅力を語る。

<スタッフ・キャスト>

出演： 団時朗、庵野秀明、柳家喬太郎



「大人番組リーグ2 予告本 夏目漱石『こころ』」 概要

放送概要

- 初回放送 2014年3月30日（日） 【WOWOWプライム】
- 再放送予定 2014年8月25日（月） 午後7:00 【WOWOWプライム】

番組内容

※番組情報は初回放送時のものです。

「もしも本に予告編があったら…」というコンセプトのもと、各界で活躍するクリエイターが1冊の本を取り上げ、思わず読みたくなるような予告映像を制作する。“2分以内”というルールのもと、実写でもCGでもアニメーションでも、制作方法は自由となっている。予告編に挑むのは、演出家・映画監督のタカハタ秀太、タレントのダンカン、サンドアートパフォーマー・船本恵太（SILT）の3人。

対象となる本は、夏目漱石の名著で1914年に発刊された「こころ」。タカハタ秀太はドラマ仕立て、ダンカンは登場人物が独白していくスタイル、船本恵太は得意

のサンドアートで作成し、それぞれの制作過程にも密着していく。予告編を見終えた後、“タイトルは知っているが読んだことがない”という人が書籍を手に取りたくなるプログラムだ。語りは女優の奥貫薫。

<スタッフ・キャスト>

出演：タカハタ秀太、ダンカン、船本恵太（SILT）

ナレーション：奥貫薫



<衛星放送協会オリジナル番組アワード 審査員> ※敬称略

（審査委員長）吉岡 忍（ノンフィクション作家）

（審査員）<オリジナル番組賞 審査員>

石井 彰（放送作家）、音 好宏（上智大学文学部新聞学科教授）、

鴨下 信一（演出家）、小宮山 悟（野球評論家）、

田中 早苗（弁護士）、田中 誠（読売新聞東京本社編集局文化部）

<オリジナル編成企画賞 審査員>

川上 真澄（スカパーJSAT 株式会社）、竹端 直樹（朝日新聞社 文化くらし報道部次長）

寺島 貴樹（株式会社アイキャスト）、中野 真理子（株式会社ジュピターテレコム）、

宮崎 美紀子（東京中日スポーツ 報道部）

<同アワードに関する問合せ先>

一般社団法人 衛星放送協会 事務局 TEL03(3597)3211

URL <http://www.eiseihoso.org/>

以上